

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0125/000000/11/00		事業の種類	4		
年度	19	事務事業名	看護専門学校運営事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名	看護専門学校運営経費		担当部課名	看護専門学校			
政策名	愛着と生きがいを育むまちづくり						
施策名	高等教育		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規	保健師助産師看護師法及び学校教育法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	学生					
	誰(何)を対象として	学生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		入学試験受験者数及び看護師国家試験合格者数の推移				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	受験応募者数	人	348	292	219	200
	国家試験合格率	%	91.7	98.4	98.3	94

3 投入資源

会計区分		看護専門学校特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	14.000	14.000	100.0	13.000	92.9	12.000	92.3	
	臨時職員	1.000	1.000	100.0	2.000	200.0	2.000	100.0	
支出内訳	人件費	127,634,096	123,608,767	96.8	118,936,121	96.2	109,385,956	92.0	
	事業費	30,123,024	30,410,868	101.0	32,005,512	105.2	29,271,000	91.5	
	合計	157,757,120	154,019,635	97.6	150,941,633	98.0	138,656,956	91.9	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	57,894,091	55,354,151	95.6	54,703,857	98.8	57,870,000	105.8	
	一般財源	99,863,029	98,665,484	98.8	96,237,776	97.5	80,786,956	83.9	
	合計	157,757,120	154,019,635	97.6	150,941,633	98.0	138,656,956	91.9	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		看護師国家試験合格率の推移							
指標説明(式)		目標値は全国平均、実績値は本校							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	目標	88.3	90.6	102.6	90.3	99.7	91	100.8	
	実績	91.7	98.4	107.3	98.3	99.9			
指標名2		看護師と准看護師の比率							
指標説明(式)		県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
%	目標	71	73	102.8	73	100.0	75	102.7	
	実績	61	64	104.9	64	100.0			

【効率性】

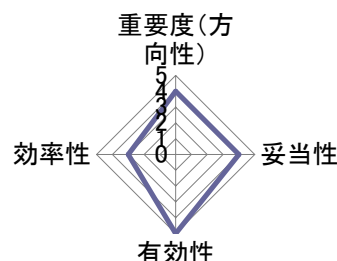
指標名1	学生一人当たりコスト								
指標説明(式)	一般会計繰入金÷学生数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	443,375	474,518	107.0	523,028	110.2	401,685	76.8	
指標名2	事務経費								
指標説明(式)	報酬、給与費等、賃金、健康診断料、実習委託料を除く事務経費								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	12,760,537	12,867,521	100.8	12,863,417	100.0	7,969,000	62.0	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	地域社会に貢献しうる看護師の育成については正看・准看の比率の推移からも着実に向上が図られてきている	4	4
	市の関与の妥当性	相生市の学校であることを全面に押し出すことにより、学校、市の両方のPRIになる		
有効性	成果目標(改善)達成度	看護師国家試験の合格率は全国平均を上回っている	5	5
	成果の向上	県が2年おきに集計している看護師の就業状況調べでは少しづつではあるが、着実に向上している。		
効率性	コストの節減	授業料収入、考査料において休学者の増加、応募者の減により収入減、又人件費、実習委託料において単価増のため歳出増となった	3	3
	負担割合の適正化	負担割合の適正化を図るため、来年度より、使用料の見直しを行う。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	看護第2学科が大きく定員割れをしたため、存続の有無について検討する必要がある



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	使用料の見直しを図ったが、看護第2学科の応募者が激減したため、存廃について今年度中に結論を出したい。
H19→H20予算反映額		980千円

(2) 20年度の実施方針

学生募集のPRの強化並びに実習病院の確保に努めたい。

検討の有無	—
総合指標	22